

# 平成21年3月期第1四半期 決算説明会資料

平成20年8月22日



(JASDAQ・コード:6425)

# 免責事項

本資料には当社及び関係会社の計画、見通し、目標、予想数値等の、将来に関する記述が含まれている場合がございますが、これらは現時点で入手可能な情報に基づく判断、及び仮定に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、将来における実際の業績は、今後の事業環境、経済状況、金融市場の状況、その他の様々な要因により、上記詳細に関する記述の内容と大きく異なる結果となり得ることをご承知下さい。

# 目次

## 【 】平成21年3月期第1四半期 連結決算概要

要約連結損益計算書	5
要約連結貸借対照表	6

## 【 】委員会設置会社への移行

委員会設置会社移行の目的	8
委員会設置会社移行後の組織体制	9

## 【 】3大コアビジネスの今後の展望

アルゼの長期ビジョン	11
国内パチスロ・パチンコ事業	12
海外カジノ向けゲーミング機器事業	13
カジノリゾート運営事業	15
平成21年3月期業績予想	19

## 【 】参考資料

会社概要	21
------	----

# 【 】平成21年3月期第1四半期 連結決算概要

# 要約連結損益計算書

単位:百万円

科 目	H20.3期
売上高	72,133
売上原価	31,671
売上総利益	40,462
販売費及び一般管理費	24,374
営業利益又は営業損失( )	16,088
営業外収益	7,778
営業外費用	555
経常利益又は経常損失( )	23,311
特別利益	20,394
特別損失	2,795
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は純損失( )	40,910
税金費用	2,932
少数株主損益	107
四半期(当期)純利益 又は純損失( )	38,086
1株当たり四半期(当期)純利益 又は純損失( ) [円]	476.52

H21.3期 第1四半期	H20.3期 第1四半期	前年同期比		
		差異	増減率	主な増減要因
5,146	12,445	7,299	58.7%	パチスロ機導入台数の減少
2,796	5,621	2,825	50.3%	パチスロ機導入台数の減少
2,350	6,824	4,474	65.6%	パチスロ機導入台数の減少
5,909	5,759	149	2.6%	
3,558	1,065	4,624	434.0%	パチスロ機導入台数の減少
1,220	1,878	658	35.1%	持分法投資利益の減少
593	127	465	364.7%	為替差損の影響
2,931	2,816	5,748	204.1%	パチスロ機導入台数減少
145	3,513	3,367	95.9%	
56	126	69	55.3%	
2,842	6,203	9,046	145.8%	パチスロ機導入台数の減少
1,273	1,506	233	15.5%	
0	23	23	100.0%	
4,115	4,720	8,836	187.2%	パチスロ機導入台数の減少
51.49	59.07	110.56	187.17	

# 要約連結貸借対照表

## 資産

単位:百万円

科目	H20.3期 通期
流動資産	108,543
現金及び預金	32,613
有価証券	23,391
固定資産	76,267
有形固定資産	19,764
投資その他の資産	55,443
資産合計	184,826

H21.3期 第1四半期	対H20.3年度末比		
	差異	増減率	主な増減要因
90,077	18,466	17.0%	
16,591	16,022	49.1%	配当金の支払い 法人税等の支払い
20,365	3,025	12.9%	MMFの為替評価損
82,723	6,455	8.5%	
18,971	792	4.0%	
62,771	7,328	13.2%	
172,814	12,011	6.49%	

## 負債・純資産

単位:百万円

科目	H20.3期 通期
流動負債	27,849
短期有利子負債	3,222
固定負債	9,650
長期有利子負債	5,069
負債合計	37,499
株主資本	147,584
評価換算差額等、新株予約権、少数株主持分	257
純資産合計	147,327
負債純資産合計	184,826

H21.3期 第1四半期	対H20.3年度末比		
	差異	増減率	主な増減要因
36,996	9,147	32.8%	
6,406	3,183	98.8%	借入金の増加
7,864	1,785	18.5%	
4,034	1,035	20.4%	
44,861	7,361	19.6%	
138,672	8,912	6.0%	配当金の支払い、当期純利益の減少
10,718	10,461	4,064.4%	為替調整勘定
127,953	19,373	13.2%	
172,814	12,011	6.5%	

# 【 】委員会設置会社への移行

# 委員会設置会社移行の目的

## 1. 経営監督機能の強化

「監督と執行の分離」の原則に基づき、「取締役会」は監督機能に徹し、取締役会から委任を受けた「執行役会」は、経営に関する基本事項以外の決定を行い、適正経営の維持に努めます。

## 2. 経営の透明性の向上

社外取締役を過半数とする指名、報酬及び監査の3委員会を設置した取締役会が、その機能を通じ経営の課題と実態の透明性を高めてまいります。

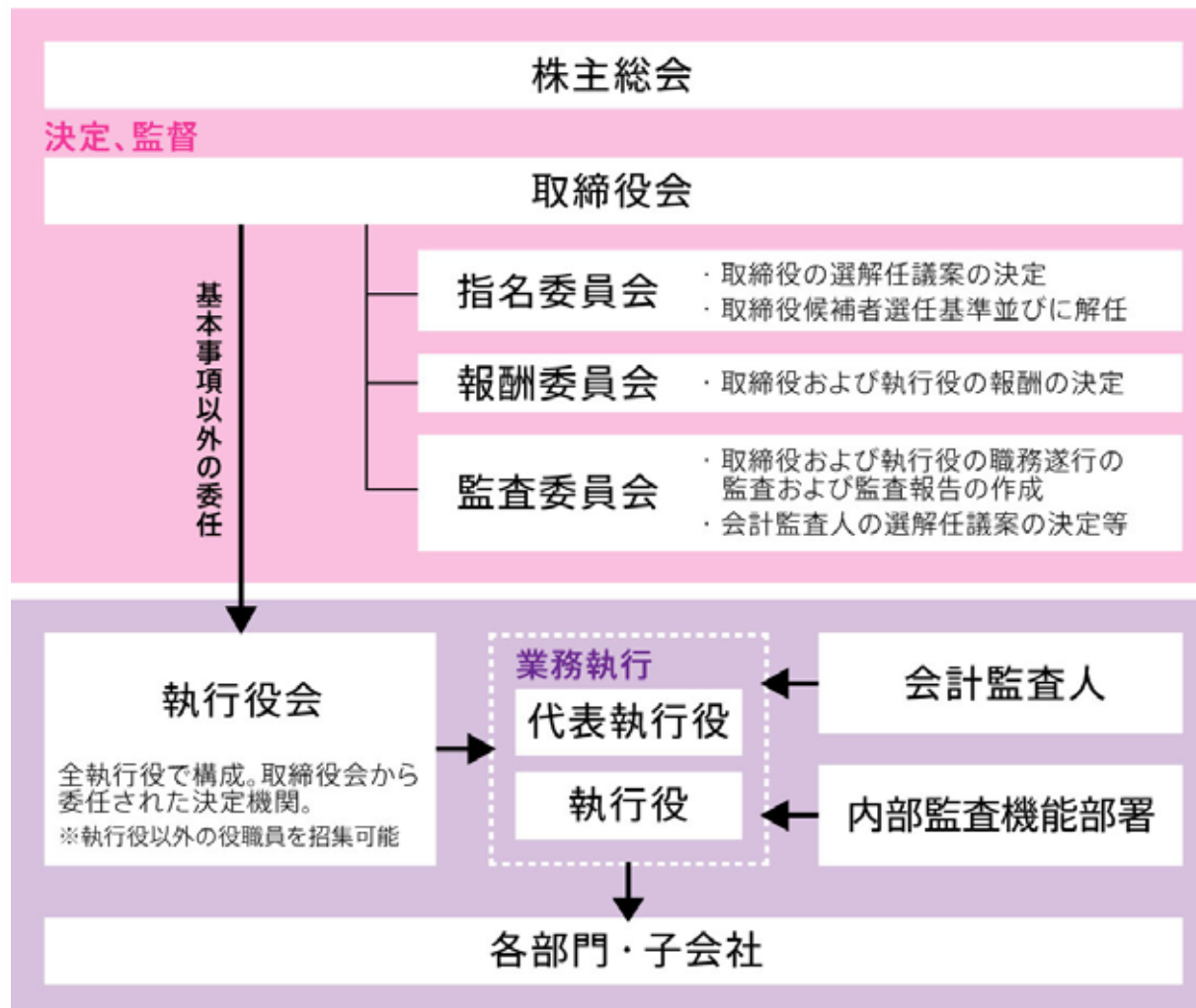
## 3. 経営の機動性の向上

執行役は、業務執行の迅速性により業務の効率を高めてまいります。



# 委員会設置会社移行後の組織体制

アルゼ株式会社体制図 (=委員会設置会社)



# 【 】 3大コアビジネスの今後の展望

# アルゼの長期ビジョン ~ グローバルエンターテインメント企業へ ~



## 1. 国内パチスロ・パチンコ事業



5号機におけるポジショニングを確保し安定収益事業へ

## 2. 海外カジノ向け ゲーミング機器事業



新規市場開拓成長分野

## 3. カジノリゾート運営事業



ウィン・リゾーツ社への投資に加え、当社独自でのカジノリゾート実現を目指し、プロジェクトチームを結成

# 国内パチスロ・パチンコ事業

## Q1の成果と今期の展望

新規5号機での射幸性の抑制が従来からの固定客離れを引き起こした結果、昨年の4～6月期には約50万台であったパチスロ市場導入台数が、本年は17万台と、予測を超えて減少。

この急激な市況悪化状況を把握し、4月に対応策を協議。役員会等の手続きを経て従来のレンタルシステムを徹底的に検討した中で革新型のレンタルシステムを導入したものの、販売体制中心だった営業が短期間であったため、新レンタルシステムに対する理解と顧客への説明をに十分にできず、結果としてQ1においては、従来の販売体制と新レンタルシステムの移行において期待される成果が上がりなかったことにより、当初の計画50,200台に対し、販売が4,500台、ソフト交換が6,200台にとどまった。

今期は、顧客のコスト負担軽減を目的として、さらなる改良を加えた新レンタルシステムをスタートさせ、通期パチスロ機21万台の市場導入を計画。この新レンタルシステムは、通期12タイトルを開発し、3筐体を活用した、店舗のコストを抑えて市場性のある価格で良い機械を提供していくという、業界で初めての画期的システム。

開発においては、ゲーム性・仕様・映像表現に徹底的にこだわることはもちろん、常に変動する市場ニーズ・市場動向を捉え、また、行政による解釈基準の緩和等にも迅速に対応しながら、

エンドユーザーを開拓し市場を活性化させるチャレンジ精神溢れる機械を積極的かつ安定的に開発していく。

他社と差別化した競争優位性のある機械と新レンタルシステムにより、市場環境の厳しい15号機時代において、顧客の購買意欲の回復を狙う。

さらに下期計画では、規制が甘かったパチンコ分野に注目し、新しいコンセプトを盛り込んだ機種開発を行っている。8月中旬と下旬に2機種の申請を進めており、今期の後半での第2主力商品と位置づけて最低でも5万台以上の販売を計画している。

### パチスロ機発売タイトル

- ・アレックス7R
- ・キングガッパ
- ・アルティメットブレイク拳

### 投入時期

- 平成20年 4月
- 平成20年 5月
- 平成20年 5月

- ・ゲッターロボ
- ・パチヘビノッチ

- 平成20年 7月
- 平成20年 8月

- ・怒濤の剣
- ・他1機種を計画

- 平成20年 9月  
(予定)

### パチンコ機発売タイトル

- ・10月頃から製造開始予定

キングガッパ



アルティメットブレイク拳



ゲッターロボ



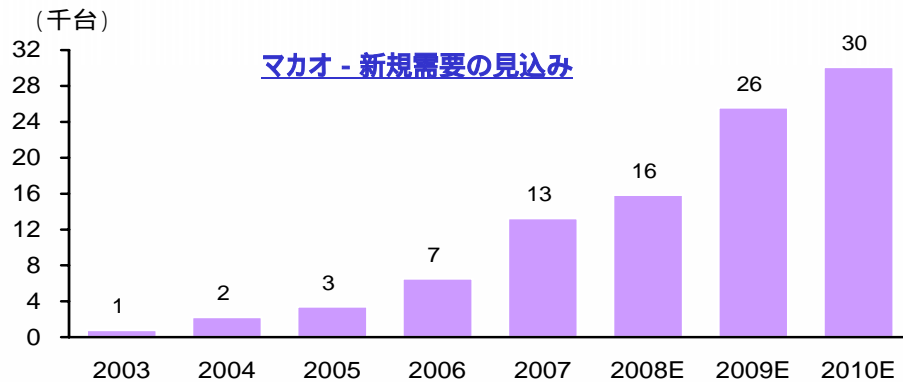
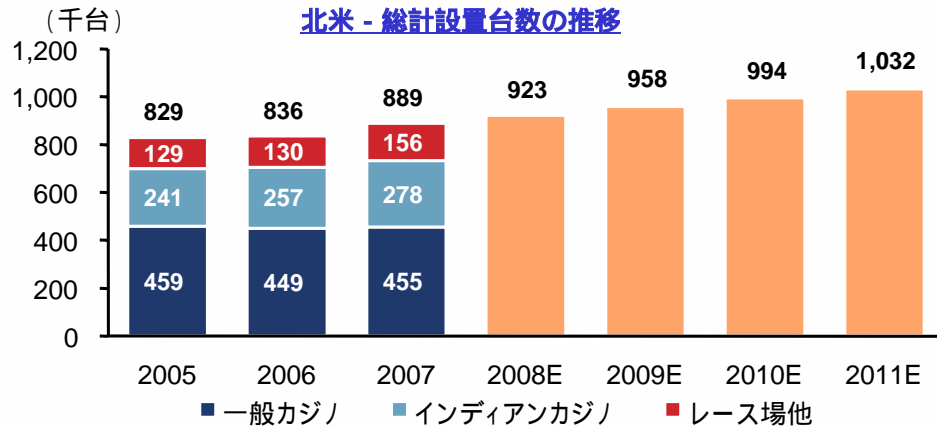
パチヘビノッチ



# 海外カジノ向けゲーミング機器事業

## 海外ゲーミング市場においてトレンドリーダーとしての復活を目指す

### カジノ向けスロット台数



出典: インターナショナル・ゲーム・テクノロジー、マカオゲーミング当局、証券会社調査部による推定値、当社推定値

### 今後の事業展開

#### 1. マカオにおける営業拠点 いよいよオープン

急成長を遂げているマカオにて今夏、販売認可を取得し営業拠点を開設予定。中国人の爆発的な流入(200万人/年)によりラスベガスを超える観光収入を記録したマカオは世界中のカジノ業界の注目の的。マカオではカジノホテルの開業ラッシュに伴い、2009年までに新たに13,000台の需要が発生する見込みであり、これを取り込んでいく。

#### 2. ラスベガス市場においても需要増見込む

ラスベガスでも続々とカジノホテルのオープン計画が進んでおり、新たに10,000台の需要が発生する見込み。大きく販売台数を伸ばす絶好の機会として捉え、ライセンスを取得し、本格的な販売活動を開始する。

#### 3. アルゼ独自の製品展開

レスキューペイのシリーズ化として“レスキュースピン”を発表。オールスクATTERをはじめとする独自のアイデア商品でアルゼブランドを確立。



# 海外カジノ向けゲーミング機器事業

今年度中に海外カジノ向けゲーミング機器事業を軌道に乗せ、  
世界一のゲーミング事業会社となるべく、下記の施策を実施

## 【施策】新しいゲームコンセプト導入による、アルゼブランドのさらなる進化

大人気レスキューペイのシリーズ化として、ビデオ用“レスキュースピ”リリース予定。



## 【施策】米国・マカオを軸に海外4拠点でグローバルな事業展開

1. アジア市場  
今や売上高世界一となった成長著しいマカオに営業拠点を開設。お客様への迅速かつ密な対応で販売拡大を目指す。
2. 北米市場  
ネバダ州での通信テストを経て本格的に販売開始。いよいよ米国市場再参入となる。またインディアンカジノにおいては人気のタイガーシリーズで販売拡大を目指す。
3. アフリカ市場  
南アフリカ国内にとどまらず、アフリカ近隣諸国へも積極的に販売。アルゼの前身であるユニバーサル時代の人気機種の新バージョンをリリースし、従前のマーケットシェア奪回を目指す。
4. オセアニア市場  
8月24日より、シドニーにて開催されるAGEゲーミングショーに出展。G-WAVEトーナメントマシンで、アルゼブランドの確立。

## 【施策】新タイトルの開発強化

マーケットトレンドになりつつある、マルチラインのビデオゲームを順次発表予定。

## 【施策】AGA(アルゼゲーミングアメリカ)の資本力の強化

AGAの開発費用・運転資金等の負担増にそなえるとともに、事業拡大および経営の責任を明確にし、当社の資金的、財務的負担を軽減すべく、取締役会長の岡田より約14億3,000万円の増資を受け、当社より岡田へ約2億7,000万円相当の株式一部譲渡を行った結果、AGAにおけるアルゼ株式会社の所有割合49.95%、岡田の所有割合50.05%となった。



# カジノリゾート運営事業(WYNN)

## WYNNが現在保有・運営するリゾート



ウイン・ラスベガス

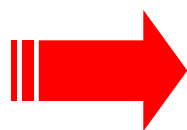


ウイン・マカオ

## WYNNのQ1における各リゾート単体状況

ハイローラーの勝ち分の比率上昇により、  
 カジノ部門・テーブルゲームの収益率が一時的に低下(前年同期27.6% 19.9%)  
 Q1において、営業損失を計上するも、翌Q2  
 においては再び黒字化

前年同期比196%の営業利益を計上し、  
 好調に推移



結果、2008年Q1においては、WYNNの純利益がUS\$46,717,000(約48億円)になっていることから、当社は株式保有率22.0%に基づく持分割合相当額として895百万円の持分投資利益を営業外収益として計上

# カジノリゾート運営事業(WYNN)

ウィン・ラスベガス、ウィン・マカオがそれぞれの市場で強い競争力を発揮し続けており、当社は今後も好業績の維持による安定な利益寄与を期待

		2008年度Q1	
		客室単価	客室稼働率
ラスベガス	<b>ウィン・リゾーツ</b> (ウィン・ラスベガス)	US\$298	95.8%
	ラスベガス・サンズ (ベネチアン・ラスベガス、パラッツォ)	US\$259	85.1%
	MGMミラージュ (ラスベガス・ストリップ沿いホテル平均)	US\$165	93.0%
	<参考> 市場平均	US\$132	88.8%
マカオ	<b>ウィン・リゾーツ</b> (ウィン・マカオ)	US\$276	88.5%
	ラスベガス・サンズ (ベネチアン・マカオ)	US\$232	78.6%
	メルコPBL (クラウン・マカオ)	US\$233	92.0%
	<参考> 市場平均	US\$97	75.3%

ラスベガス、マカオの主要市場における開発プロジェクトが順調に進行

## ラスベガス

**「アンコール・アット・ウィン・ラスベガス」**

- ・2,034室
- ・2008年12月オープン予定

## マカオ

**「アンコール・アット・ウィン・マカオ」**

- ・400室
- ・2010年前半オープン予定

### Point:

ウィン・リゾーツが自己株式の取得を行ったことにより、同社発行済み株式数が減少。これに伴い、当社の持分率が増加(前期末21.5% Q1末22.0%)

**持分法投資利益による利益寄与の増大が期待できる**



# カジノリゾート運営事業(フィリピン)

## フィリピンにおけるカジノプロジェクト

1. フィリピンにおける当社独自でのカジノリゾート運営を計画
2. 世界最高級の施設建設・運営を実現するため、各分野の第一線の専門家を中心としたプロジェクトチームを社内に設置して推進

### カジノプロジェクトの概要

- |            |   |
|------------|---|
| (1) 取得用地   | 「バゴン・ナヨン・フィリピノ・マニラ・ベイ・ツーリズム・シティ」の隣接地  |
| (2) 主要施設   | カジノホテル、水族館、美術館、スポーツ施設、観覧車、商業施設等   |
| (3) 事業規模   | 総額2,500億円程度を想定  |
| (4) スケジュール | 平成20年 4月 概要設計開始<br>平成20年 7月 約95%の用地取得(約30ヘクタール)<br>平成20年 8月 暫定ライセンス取得<br>平成20年 8月 詳細設計開始<br>平成20年12月 設計完成<br>平成21年 1月 見積開始<br>平成21年 2月 工事着工<br>平成22年 4月 カジノ施設等オープン予定<br>平成23年11月 ホテル施設等オープン予定 |

# カジノリゾート運営事業(フィリピン)



完成予想図(ガーデンビュー)

## 狙い

- ・アジア地域の観光客の増加に着目
- ・中国を中心としたアジアの経済成長による富裕層の受け皿
- ・アジアの主要都市から等距離、  
風光明媚な環境で究極のホスピタリティを提供
- ・世界一のカジノリゾートを造る

## コンセプト

- ・地元への貢献  
水族館、子供向け施設、観覧車等
- ・VIP客向け、一般客向けの施設を分離  
WYNNでの経験を活かした超一流施設を中心とする
- ・自然との調和と環境への配慮を重視



完成予想図(エントランスビュー)

# 平成21年3月期業績予想

## 連結

単位:百万円

	通期
売上高	75,000
営業利益	20,000
経常利益	25,900
当期純利益	15,000

## 単体

単位:百万円

	通期
売上高	62,000
営業利益	14,500
経常利益	16,000
当期純利益	9,600

### Q2以降における上昇余地の要素:

**パチスロ**: 店舗のコスト負担削減につながる、通期12タイトルを開発し3筐体を活用した新レンタルシステムを導入することで、21万台の市場導入を計画

**パチンコ**: 従来にはない画期的な新型モデルを開発、通期5万台以上の販売を計画

**海外向けゲーミング機器**: 米ネバダ州、マカオに向けた販売活動を一層強化

# 【 】 参考資料

# 会社概要

**本 社:** 〒135-0063 東京都江東区有明3-1-25 有明フロンティアビル

**設 立:** 1973年6月

**従業員数:** 連結1,325名 単体366名 (2008年3月31日現在)

**グループ事業所:** 工場 2 / 支店 26 / 海外拠点 3

**発行済み株式総数:** 80,195,000 株 (2008年3月31日現在)

**株 主 数:** 6,056人 (2008年3月31日現在)

大口株主:	氏名	所有株式数	所有割合 (%)
	岡田 和生	25,228,300	31.5%
	岡田 知裕	23,615,600	29.5%
	ゴールドマン・サックス(レギュラー)アカウント	7,343,452	9.2%
	岡田 裕美	5,325,000	6.6%
	横塚 ヒロ子	2,390,000	3.0%
	モルガン・スタンレーカンパニー	1,410,800	1.8%
	ジェー・ピー・モルガン・チェース・バンク	897,400	1.1%

**JASDAQ・コード:** 6425

**URL:** <http://www.aruze.com/>

**問合せ先:** TEL: 03-5530-3055 (代表)  
E-mail: [ir@aruze.com](mailto:ir@aruze.com)